

第130回 経営協議会議事録

日 時 令和7年9月29日（月）14時00分～16時00分
場 所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室
出席者 本山学長
島委員、清水委員、関委員、築野委員、宮下委員、矢倉委員
野村、松本、岩田、山形 各理事
(福田監事、内川監事、金川経済学部長、矢嶋システム工学部評議員、満田
戦略情報室長、南方副理事、中村副理事、小田企画課長、櫻井財務課長)
欠席者 北村委員、松田委員、添田理事

学長から、第129回（令和7年6月17日）の議事録について確認があった。

議 題 :

1. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告について
(令和7年度公表分)
松本理事から、資料に基づき説明があり、審議の結果了承した。
2. 和歌山大学学則の改正について
小田企画課長から、資料に基づき説明があり、審議の結果了承した。

（主な質疑や意見）

- ・今回の改正は学則に不備があったため行うのか。
→不備ではなく、今年度中に機関別認証評価を受審するにあたり、自己点検・評価の実施並びに「卒業又は修了の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」及び「入学者の受入れに関する方針」（以下「3つのポリシー」という。）の制定について、本学の教育に関する基本的な決まりである学則で定める方が、評価委員に対し全学としての内部質保証体制をより明確化できることが判明したため、改正を行うものである。
- ・学則を変更するにあたっての手続きは。大学のみで完結するのか。
→学則に関しては本学ではこの経営協議会を含め、役員会および教育研究評議会で承認されることにより改正可能である。
- ・今回の学則の改正は、内部質保証体制や3つのポリシーを明確に表現することになるので、和歌山大学にとってひとつの段階として非常に良いことだと考える。

3. 学長選考の方法について

(当議題の審議について、学長、金川経済学部長、矢嶋システム工学部評議員、

満田戦略情報室長、中村副理事、櫻井財務課長は退席)

南方事務局次長から、資料に基づき説明があり、審議の結果了承した。

(主な質疑や意見)

・根本的には変更ないのか。

→今までと大きく異なるのは、経営協議会で「所信表明書」をつけなければ
ならないところである。

・このスケジュール感は現実的か。

→スケジュールについては今後慎重に考えたい。

報 告 :

1. 令和6事業年度財務諸表の承認について

松本理事から、資料に基づき説明があった。

(主な質疑や意見)

・6月の経営協議会で目的積立金の承認を申請しているという説明があった
が、いつごろ結果がわかるのか。

→現在、文部科学省で手続き中である。例年は年末頃に結果が通知される。

・令和4年度、令和5年度の目的積立金はすでに承認されており、令和6年
度も合わせると相当規模の積立金になるだろう。本来使われるべきものが
使われていないのか、使うことができなかつたのか、執行状況を適切に把
握しながら、大学の教育研究充実のために着実に執行されるよう、取り組
んでいただきたい。

2. 令和8年度概算要求の状況について

松本理事から、資料に基づき説明があった。

(主な質疑や意見)

・AIの利活用について、中長期的な方針があればお聞きしたい。

→現在は、国の方針に従って概算要求を取りに行っているという状況である。

教育研究の質向上などをしっかり議論したうえで、AI関連予算を検討して
まいりたい。

その他：

1. 令和8年度概算要求に係る対応のお願いについて（国立大学協会）

本山学長から、資料に基づき説明があった。

(主な質疑や意見)

- ・建物の老朽化や耐用年数を超える高額備品にどのように対応するかについて
は、中長期的に考える必要がある。ライフラインを確保し、教育研究に支障
のないよう、5年後、10年後、20年後にどのような予算が、どの程度の
予算規模で必要かを算定し、どのように文部科学省など対外的に説明するか、
という視点で取り組んでいただきたい。
- ・国大協から国への要望ということだが、一大学だけでは限界があるだろう。
国には、高等教育にどれだけの予算を投入するかという観点を持ち、高等教育
予算を充実させることを、強く要望したい。
- ・将来の方向性を見据えた、今やるべきことの詳細な説明を受け、開かれた運
営であることを実感した。
- ・和歌山大学の体育館は、災害時の避難場所としても重要である。そのことを
意識して改修や予算要求を行う必要がある。
- ・施設の充実や改修は重要だが、附属学校については、これまでの在り方や取
り巻く環境が大きく変わってきたことから、必要性を改めて議論すべき
である。地域のモデル校としてどのような姿であるべきか、今何が課題とし
てあるのかを検討したうえで、今後の方向性を考えていただきたい。

経営協議会全体を通し、委員から以下の意見があった。

- ・「わかやま地域連携推進プラットフォーム」のホームページが4月から更新さ
れていないが、現在の活動状況は。「わかやま地域連携推進プラットフォーム」
の推進は、アクションプランに盛り込まれていたはずなので、ただ枠組みを
作るだけではなく、具体的な目指す方向を示して一つずつ活動を積み上げて
いただきたい。

→秋にシンポジウムを計画しているが、ご指摘の通り地道に活動しながら、ホ
ームページの更新を含め、活動が見えるよう取り組みたい。

以上